



令和5年度オンライン公開講座（高校生対象）


アンケート調査を企画し，調査票を作成してみよう！

社会調査はアンケート調査などの量的調査とインタビューや面接などの質的調査があります。ソーシャルワークを実践する上で，対象者や生活する環境やコミュニティを理解することはとても重要です。そこで本講座ではアンケート調査票の質問項目や構成について，実際に作成しながら，学びを深めることを目的とします。

日時	令和5年7月13日(木) 18時00分～20時00分
講師	県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科人間福祉学コース 教授 田中 聡子
会場	オンライン（リアルタイム配信講座）
対象	高校生
定員	20名
受講料	無料
申込締切	令和5年6月26日(月)
問合せ先	県立広島大学三原地域連携センター 公開講座係 〒723-0053 三原市学園町1-1 電話：0848-60-1120（平日9時00分～17時00分） FAX：0848-60-1134 メール：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

※講座の詳しい内容と申込方法は，2ページをご覧ください。

令和5年度オンライン公開講座「アンケート調査を企画し、調査票を作成してみよう！」

内容	1	社会調査がソーシャルワーク実践になぜ必要か	田中 聡子
	<p>社会調査は質的調査と量的調査に大きく分けられます。ソーシャルワーク実践において利用者のニーズを把握するために、利用者が生活する地域社会や小集団の様々な状況を把握することが必要になります。そこで、社会調査の概要及びアンケート調査の目的や構成について学びます。</p>		
	2	作ってみようアンケート調査票	田中 聡子
	<p>アンケート調査の構成を学び、実際に質問項目を設定してアンケート調査票の構成を考えていきます。各質問項目は変数と言います。アンケート調査の目的と質問項目(変数)の関係を考えながら、「調査における仮説とは何か」など基本的なアンケート調査について学びます。</p>		
受講条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ Zoom (https://zoom.us/) を使用したオンライン講座で行います。 ・ Zoom が使用できる受講用機材 (パソコン, タブレット, スマートフォン等) やインターネット環境が必要です。 ※種類や性能に指定はありませんが、テレビ会議ができるものを推奨します。 ・ 受講用機材, インターネット環境, 通信料等は受講者の負担となります。 ・ 法令や公序良俗の違反, 講座の妨害, 講師を含む参加者を不快にさせる言動等があった場合, 講師の判断でオンライン接続を中止することがあります。 ・ 配信される講座内容や資料等について, いかなる手段による撮影, 録画, 録音, 保存, 複製, 再配布, 再配信を禁止とします。 <p>※ お申し込みの方は受講条件にご承諾いただいたものといたします。</p>		
申込方法	<p>下記の県立広島大学ホームページ上 URL「申込フォーム」または QR コードからお申込みください。</p> <p>https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=796</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>※申込の方へ受講案内をメールで通知します。メールフィルター設定をされている場合は, @pu-hiroshima.ac.jp ドメインからのメールを受信できるよう設定をお願いします。</p>		